

のバランスで健康づくり

# 「アトピー性皮膚炎」には漢方が効果的！

近年、アトピー性皮膚炎が増えているといわれます。以前からアトピー性皮膚炎はみられましたが、地球環境の悪化でしよいか、増加の傾向にあるようです。

漢方の面からみますと、我々の生活環境の変化(ことに「住環境」の変化と、「食生活」の変化)が、アトピー性皮膚炎の増加を増長している様に思われます。

## 現代医学でも治療の決め手がない皮膚病

アトピー性皮膚炎は、体質的なものが原因となっておこる皮膚炎です。現代医学でもなかなか決め手となる治療法がなく、長期間にわたって苦しみ続けることが多く、なかなかやっかいな皮膚病です。

あちこちの皮膚科に通って治療し、よくなつては、またぶ

り返すので、別の皮膚科に転医して治療を繰り返した末に、困りはてて漢方治療を求めておいでになるケースがほとんどです。

漢方では「体の内部に病があれば、体の表面に現れる」という認識から、体の表面の皮膚病を体の内部からの体質がらみでとらえて治療するのが特徴で、実際に治療を行うと、なかなか効果的です。

## 皮膚の状態と体質で個々に対応する漢方

漢方の治療は、その時々のアトピー性皮膚炎の状態や体の体質を、漢方の診療(脈や舌を見て、又、必要に応じて、お腹

をさわって行う漢方の診察である腹診も併用して)によって、漢方の診断を下して治療を行います。

現代医学では、病気の診断がつけば一律、同じ治療を行います。が、漢方では患者さんひとりひとりの皮膚の状態や体質によって、飲んで頂く漢方薬も違ってきます。個人差を重視した治療を、使い分けしながら体の中から治して行くのが漢方の特徴です。

## 食生活の歪み、中でも「甘い物」に

### 要注意！

よく用いられる漢方薬には  
消風散(しょうふうさん)、  
温清飲(うんせいいん)、  
黄連解毒湯(おうれんげどくとう)、  
白虎湯(びゃくことう)、

●当帰飲子(とうきいんし)、  
●小建中湯(しょうけんちゅうとう)などがあります。

このような皮膚病の患者さんを見ていますと、どうも偏食の人が多い様に思います。

甘いものが大好きで、肉類も好きだが、野菜が大嫌というパターンです。(ことにお子さん)漢方からみると、なんでもバランスよく食べたり飲んだりすることが大切です。

チョコレート、ケーキ、清涼飲料水などの甘い物は、できるだけ避けましょう。

漢方医からの生活アドバイス

**【偏った食生活】**  
中でも、特に  
**甘い物は要注意！**